



令和6年11月1日(金)～11月3日(日)長瀬射撃場(埼玉県)で10m・50m種目、11月8日(金)～11月9日(土)ナショナルトレーニングセンター(東京都)において25m種目の2024年度全日本スポーツ射撃競技選手権大会(男女混合オリパラ共生大会)が開催された。本校射撃班からは、12名(ライフル7名、ピストル5名)の選手が参加した。



島田敦(しまだあつし)3等陸尉は、全日本ライフル50m3姿勢種目において初優勝を勝ち獲った。島田3尉はいつも通り落ち着いた状態で試合に入り、本人の最大の特徴である淀みのない丁寧な射撃を最後まで実施し、これまで積み重ねた技術が今回の結果に繋がった。大会後、島田3尉は「この大会は、1年間で最も重視する大会で優勝は私の目標だった。大会本番では、体校関係者の応援があり緊張感とアットホームな感じで試合に臨むことができ、パフォーマンスを出し切る事ができた。今後は日本一に満足することなく、世界の舞台で活躍できる選手になりたい。応援ありがとうございました。」と喜びと今後の抱負を語った。島田3尉の努力が今後更なる結果へ繋がることを期待する。



岩佐正貴(いわさまさき)3等陸曹は、男子エアピストル10m種目において自身2度目となる優勝を飾った。大会を終えて岩佐3曹は「今回の全日本は練習通りをそのまま試合に出せて良かった。今後はさらに高い点数を撃ち、国内外でメダルが取れるよう精進していきたい。」と次なる目標を語った。コーチからは「岩佐3曹は精神的な波が少ない選手で、普通の選手であれば沈んでしまうような場面でも持ち堪えられる選手である。試合で厳しい場面が何度あったがギリギリのところで耐え、優勝することができた。今後、更に高い点数を撃つ技術を習得し世界で勝つ選手になれると思う。」と期待の言葉がよせられた。





エアライフル

○50m3姿勢



島田敦

○50m3姿勢



小笠綾乃

○50m3 姿勢 (団体)



小笠綾乃・鈴木志佳・堀之内愛



島田敦・花川直樹・以西鷹一郎

○10m エアライフルミックス



島田敦・小笠綾乃

総 合 成 績 (メダル獲得者)

○男子 10mエアライフル



花川直樹

○女子 10mエアライフル



堀之内愛

エアピストル

○男子 10m エアピストル



岩佐正貴

○10m エアピストルミックス



岩佐正貴・山田聡子

○10m エアピストル (団体)



金坂春杜・岩佐正貴・徳永大輔

